



発行 柏床由夫後援会

神石高原町油木乙23番地2 Tel.(0847-82-2022)

<http://ww4.tiki.ne.jp/~kashiwatoko/>

Email kashiwatoko@mx4.tiki.ne.jp

3月定例議会は、3月5日から19日までの会期で100議案を審議し、全議案、原案可決しました。3月議会には、令和2年度補正予算、条例改正、令和3年度各種会計予算、教育長人事案が提案されました。令和2年度補正予算は、事業予算の清算、国の3次補正予算を活用した事業、商店の消費喚起事業、収入減となった飲食店等の支援等の予算が議決されました。条例改正では、県内初の「神石高原町新型コロナウイルス感染症対策推進条例」が制定されました。

令和3年度 総額 186億5695万円【過去最大】

一般会計予算 120億円

(前年比 ▲5億5000万円)

病院事業会計 27億2940万円

(前年比 17億9742万円増)

【3月議会】

令和3年度予算は、合併後最大の予算となつていきます。その要因は、本年度、町立病院建設による病院事業会計が約18億円の増額となつていきます。

一般会計の主な減額の要因は、本年度で庁舎新築工事が完了するためです。オープンは、10月予定。

国民健康保険特別会計の主な増額の要因は新型コロナウイルスの予防接種など。簡易水道特別会計の主な増額の要因は、安田地区の簡易水道整備、高蓋地区の老朽化した水道管の改修などです。

令和3年度の主要事業は、4ページに記載しています。

【4月臨時議会】

一般会計補正 1億0237万円

(内、新型コロナウイルス関係 9986万円)

4月21日に臨時議会が開催され、一般会計補正予算を審議しました。

新型コロナウイルス対策の事業内、子育て世帯生活支援特別給付金(対象者11児童扶養手当支給者など。児童一人当たり一律5万円)

問合せ先 子育て応援課へ

高齢者、重度心身障害者等生活支援・地域消費喚起事業。75歳以上の高齢者や重度心身障害者を支援するため、町内で使用できる商品券(対象者一人につき5千円)を支給。などのほか新たに、頑張る中小事業者応援事業など追加。

町内小学校・新入生及び全校児童数

2021(令和3)年4月7日現

学校名	新入生	全校児童
油木小学校	9	50
神石小学校	7	54
来見小学校	9	70
三和小学校	12	116
豊松小学校	2	14
小学校合計	39	304

町内中学校・新入生及び全校生徒数

2021(令和3)年4月7日現

学校名	新入生	全校生徒
神石高原中学校	30	81
三和中学校	22	82
小学校合計	52	163

出生数

暦年

平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
39	35	32	25	35

2021年度(令和3年) 予算総括表 単位:万円

会計名	予算額	前年増減
一般会計	120億0,000	▲5億5,000
特別会計	国民健康保険	11億0,130 7,690
	後期高齢者医療	3億7,200 ▲ 710
	介護保険	18億4,145 2,545
	簡易水道事業	3億2,400 7,440
	飲料水供給事業	4,000 200
	農業集落排水事業	2億4,300 ▲ 4,020
	総合開発事業	170 ▲ 10
	分収育林事業	370 360
計	39億2,755 1億3,495	
病院事業会計	27億2,940 17億9,742	
合計	186億5,695 13億8,237	



柏床議員の一般質問

令和3年度新規事業

奨学金返済支援制度

問 地元に戻って来やす
い仕組みとは。

答 対地元へ帰る

きっかけづくりには。

柏床Ⅱ令和3年度から新規に奨学金返済支援制度を取り組むとあるが制度の具体は。

町長Ⅱ奨学金を返済している者が本町へ定住した場合、定住した期間に返済した額の2/3相当額（年間15万円限度）を支援する。事業期間は、令和3年度～令和6年度までの4年間、申請

した年度から最大5年間年支援するもの。

柏床Ⅱ定住の定義は。住民登録があれば良いのか。

政策企画課長Ⅱ実際に住んでいることも確認する。

柏床Ⅱ支給するにあたり、奨学金返済者であれば年齢要件は無いのか。

政策企画課長Ⅱ奨学金を返済している者であれば年齢要件は考えていない。対象となる。

柏床Ⅱ事業期間は、令和3年度から令和6年度（神石高原町第2期総合戦略策定期間）、申請を受付、最大5年間補助するとあるが、5年間限定か。

政策企画課長Ⅱ第2期総合戦略策定期間で転入と転出の均衡を図るため事業にのっとったものと考えている。5年間定住いただければ定住につながるかと考えたもの。柏床Ⅱ支援期間5年が終わったら転出する可能性もある。定住を目的とするのであれば、奨学金支援制度と就業がセットでないと本当

の定住にはならないのでは。地元企業等の連携は。

政策企画課長Ⅱ現在は考えていないが今後検討したい。

柏床Ⅱこの事業を運営する財源として町民等の寄付金と一般財源で基金を設立して運用とあるが、住民説明も未実施で住民に理解いただけるのか。拙速ではないか。

町長Ⅱ寄付は強制でもなく、今すぐするということではない。令和3年度は財源確保しているので議論を進めていく。

権現山の山頂から油木の町並み 3月27日撮影



機構改革について

問 民間企業との人事交流の意義は。

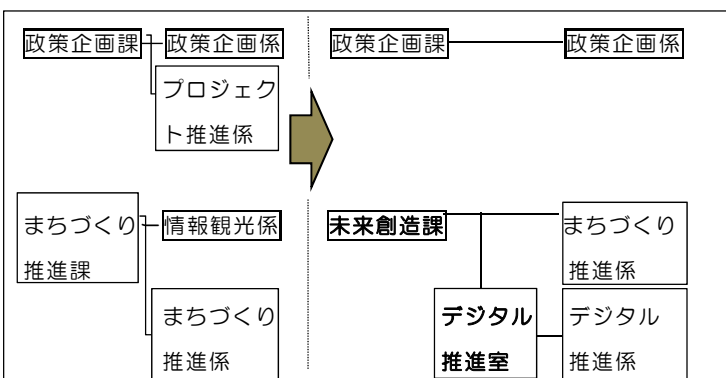
答 本町の必要な人材として育成したい。

柏床Ⅱ機構改革で改編新設する課への、民間企業との人事交流の意義は。

町長Ⅱ新年度の組織改編として、まちづくり推進課」を「未来創造課」に改編し、課内にデジタルトランスフォーメーションの推進（DX）に取り組む部署として、新たに「デジタル推進室」を設置する。

デジタル技術の活用は、私たちの暮らしを変える革新的なもので、そのデジタル推進に向けた体制づくりにあたって、専門的な知識を有する職員の育成及び確保が課題で、本町の職員のみでの対応は困難。そのため、民間企業との人事交流で、即戦力として対応でき

【機構改革図】



る職員を1名派遣していただく。派遣職員には、先進的な取り組みなど学ばせたいと考えている。派遣期間は、2年間で予定している。

柏床Ⅱ人事交流の意義及び必要性は。

町長Ⅱ町政の課題に的確に対応するため、必要な知識及び能力を有する人材の育成を図ることが目的。

本町の行財政運営に必要な人材として育成できるものと考えている。

広島県水道広域連携

広島県水道広域連携とは、県内の自治体が運営する上水道事業・簡易水道事業の経営の安定を図るため、企業団を設立し水道事業の統合をする計画。

すでに不参加を表明している自治体は、広島市、呉市、福山市、尾道市、大竹市、海田町。

油木地区 近田浄水場



柏床Ⅱ県が推進する、広島県水道広域連携について町の方針は。

町長Ⅱ広島県は水道事業の経営組織を一元化する 統合による連携」が適当という方針を示した。

現在の検討状況では財政的に不利な面も想定されるが、今後の見通しについて不透明な事項が多いことから、統合による連携」が住民の利益につながるかどうかを見極めていく。

柏床Ⅱ企業団設立準備協議会に参加するのか。

町長Ⅱ県水道企業団設立準備協議会（仮称）では、令和3年度に企業団の組織、財政方針、事業ごとの財政計画など検討協議を行い、令和4年2月に企業団の事業計画素案を作成することとなっている。

この協議会に参画し、町の計画や意見を示したうえで、検討、協議、情報収集を進め、統合について判断していく。

柏床Ⅱ設立準備協議会に参加して、町にとって不利な場合は脱会できるのか。

町長Ⅱ県が示している。基本協定（案）では、事業計画素案を作成する段階で、統合への参画が困難と判断した場合は準備協議会を脱退できることとされている。

このため、準備協議会に参画後に、統合への参画又は脱退を判断することは、可能であることを確認している。

柏床Ⅱ財政的に不利と説明が在ったが具体的には。

環境衛生課課長補佐Ⅱ特定簡易水道となった場合は、事業実施の際の国庫補助4／10の適用が受けられないなど、ほかにも何点か考えられる。

柏床Ⅱ府中市がすでに参加を表明されている。府中市の階見に簡易水道があることから本町は参加すれば特定水道となるか。

環境衛生課課長補佐Ⅱ特定簡易水道事業になるものと思われる。

柏床Ⅱ水道法の改正により、コンセッション方式の導入が可能となっているがご存じか。

環境衛生課課長補佐Ⅱ簡略に説明すると水道事業は公営であるが、民間の事業者などに運営をさせることが可能になると認識している。

柏床Ⅱ海外では民間委託から再公営になる事例もある。また、事業計画では油木地区と豊松の一部の地区の11浄水場のうち9浄水場を休止し市場浄水場と近田浄水場に集約する計画案があるが、給水ができるか疑問である。

毎日飲む水なので十分調査・研究を行い判断してもらいたい。

町長Ⅱ県の方針に沿って今まで研究してきたが、デメリットのほうが大きいということ、どちらかと言うと参加しない方向で検討して来たが、政治的判断で参加して県の考え方を確認する。加入しない自治体も分かったので、課題が克服で

きるのか、メリットはあるのか確認する。そのうえで町民の為に参加するのが良いのかどうかを判断したい。

3月12日に町長から議会に、設立準備協議会に参加する報告がありました。

農業振興について

問 スマート農業の取り組みへの考えは。

答 検討されるべき技術。柏床Ⅱスマート農業について、町の考えは。

町長Ⅱ技術検討実証園という形で、広島県が本町のトマト栽培での統合環境制御による最適環境化の技術試験も行われたと伺っている。ICTやロボット技術を活用した次世代型農業は、本町のような担い手の少ない中山間地域でこそ必要な技術であり、今後、経営規模の拡大と合せて、検討されるべき技術だと考える。

令和3年度新規事業及び拡充事業

事業名	事業内容	規・継	予算額
農業振興対策事業 (農業振興協議会事業)	神石高原町農業振興協議会(仮称)の設立	新規	30万円
まち・ひと・しごと創生事業	奨学金事業 (奨学金返済支援) 奨学金返済者が町に定住した場合、1年間に返済する奨学金の2/3(上限15万円)を5年間補助 事業期間：令和3年度～6年度	新規	75万円
情報通信基盤整備事業	かがやきネット BS4K8K 整備工事	新規	1,529万円
単独町道整備事業	町道有元高水池線 測量設計委託費	新規	960万円
水道未普及地域解消事業	西油木地区簡易水道ろ過機設置	新規	1,000万円
観光事務経費	観光振興計画の策定	新規	550万円
予防接種事業	新型コロナワクチン接種事務経費 985万円 ワクチン接種委託費 3,173万円	新規	4,158万円
予防接種事業	新型コロナウイルス接種システム費用	新規	124万円
保育所改修整備事業	こばたけ保育所 設計・用地取得	新規	4,100万円
子育て援助活動支援事業	広島県子育て支援員研修受講費補助	新規	28万円
ひとり親家庭等医療費支援事業	ひとり親家庭の医療費の自己負担分相当額支援 医療扶助費	新規	50万円
交通安全推進経費	シニアカー購入助成 75万円 補助率 1/6 上限5万円 ※対象者：65歳以上 サポカー購入助成 250万円 国基準額 1/2 上限5万円 ※対象者：65歳以上	新規	325万円
新技術活用推進事業	DX 推進経費 負担金	新規	608万円
小・中・高校教育支援事業	外部指導者委託費	拡充	300万円
英語教育推進事業	小中高生海外体験事業補助(10人) 1/2 補助 上限20万円	拡充	200万円
小・中学校給食施設全体管理運営経費	神石高原ランチ 現行年開3回→年間12回	拡充	365万円
社会資本整備総合交付金事業	平成30年災害のため中断事業の再開 町道宇賀線 3,061万円 町道日の郷線 2,426万円 町道時安線(2工区) 2,043万円		
単独町道整備事業	平成30年災害のため中断事業の再開 町道油木豊松線 3,000万円 町道市場野田丸線 2,601万円		

【3月議会を終えて】

私にとって2回目の定例議会となりました。行政経験はあっても議員としては新人。今回の一般質問では広島県が進める水道広域連携について質問しました。県内の自治体が運営する水道の統合目的は水道経営基盤の強化を図る事を目的としています。すでに、統合に不参加を広島市・呉市・福山市・尾道市、大竹市、海田町が表明しています。

仮に来年統合しても、10年間は単独での経理が想定されています。

また、本町の簡易水道事業は統合の対象となりますが、飲料水供給事業(小規模水道施設)は対象外で、町が運営して行くこととなります。

議会では、水道広域連携について、産業建設常任委員会にて調査・研究することとしています。

生活に欠かせない「水」、今後、経過を通信にてお知らせします。